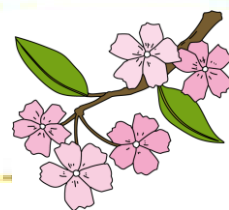


つむぎだより

学校の教育目標 深く考え 心あたたかな たくましい生徒



「上麻生中学校」というブランド

校長 渡邊 謙吾

12人の新入生と、21人の先輩たち、そして、非常勤の先生も含めると8名の転入職員を迎え、今日、令和5年度の新しいスタートを切りました。お子さんの入学・進級おめでとうございます。本年度も当校の教育活動にご理解とご協力をいただきますようお願いいたします。

上麻生中学校は、昭和22年に開校以来、本年度で77年目を迎えます。12名の新入生は、脈々と受け継がれてきた上麻生中学校の伝統と文化を引き継ぐ、77番目の伝道師ということになります。

七宗町は、県内の42市町村の中でも人口ランキングが40番目の小さな町ではありますが、上麻生中学校は、かつて部活動やロボコンなどで岐阜県、全国にその名を馳せたこともしばしばありました。また、参加した大会などでは、自主的に大会運営を手伝ったり、チームとしての振る舞いが賞賛されたりするなど、愛され、応援される学校として、その存在感を放ってきました。また、日々の生活を見てみると、一見同じように繰り返される時間の中で、自分を、そして仲間を高めようと、授業や諸活動に取り組む姿があり、安定した学校生活の中で社会に通用する力を育んできました。

それは、地域の方に見守られながら、保護者の方々の絶大なるバックアップの下で培われてきた「上麻生中学校」というブランドになっています。この1年の歩みは、この「上麻生中学校」というブランドをさらに磨き上げ、そこに込められた意味や思いを大切にしながら、ブランド力の向上を図る取り組みとなります。

上中が目指してきた『深く考え 心あたたかな たくましい生徒』とは、「愛され、応援される生徒」のことです。まず、私たちの構えとして、そんな生徒の育成の先には、七宗町を背負う、七宗町を思いながらよその地で、社会に貢献する人材を育てることがあります。社会に出た時、愛され、応援される「上麻生中学校」というブランドに誇りを持ち、そのブランド力を直接または発展させて活用できるようにしていきます。

ただ、その過程には、子どもたちが知らなかったり甘えがあったり、挑戦したりしたからこそ起こる失敗もあると思います。そんな時は、保護者の方や地域の方のお力もお借りしながら、思いを受け止めながら子どもたちと向き合ってまいります。わたしたちはそれを「鍛える」と捉えています。

お子さんを中心に、学校、家庭、地域が手を取り合い、一緒にお子さんを鍛えていただけますよう、本年度もよろしく申し上げます。